

地域公共交通計画の基本的な方針等に関する オープンハウスの開催結果

1. 開催概要

1-1 実施目的

令和3年度に検討した府中市地域公共交通計画の「基本的な方針（案）」や「計画目標（案）」について市民の意見を広く伺うため、自由に入退場でき、展示物について意見交換ができるオープンハウス形式のイベントを実施した。

1-2 実施概要

実施概要は下記のとおり。

表 実施概要

| 実施概要 | |
|-------|---|
| 日時・場所 | 市民意見を広く収集するため、府中市内3箇所で実施することとした。 ・5月12日(木)10時～16時 @白糸台文化センター 1階ロビー ・5月13日(金)10時～16時 @西府文化センター 1階ロビー ・5月14日(土)10時～16時 @フォーリス 1階光と風の広場 |
| 実施方法 | 各会場にパネルや説明用モニター等を設置し、府中市職員やKCS職員が来場者に説明を行った。 来場者に簡易的なアンケートを行い、「基本的な方針（案）」や「計画目標（案）」等に対する意見を収集した。 |

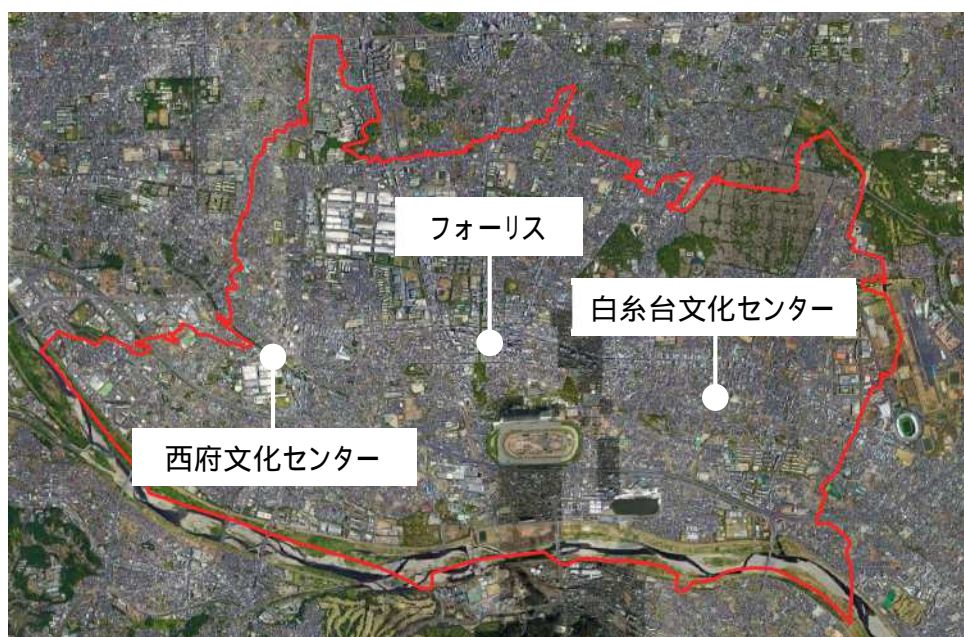


図 会場位置図

2 . 説明用パネル

2 - 1 パネルの構成

展示パネルの構成は、下記のとおり。

表 パネル構成

| No. | タイトル | 掲載内容や訴求事項 |
|-----|--------------------|--------------------------------|
| 1 | 地域公共交通計画とは | ○地域公共交通計画について ○府中市の検討経緯 |
| 2 | 府中市の公共交通 | ○府中市の公共交通網 ○市内を運行する公共交通 |
| 3 | 地域公共交通の現状・問題点 | ○市中心部への移動に関する問題点 |
| 4 | 地域公共交通の現状・問題点 | ○地区内の移動に関する問題点 |
| 5 | 地域公共交通の現状・問題点 | ○地区間・市内外の移動に関する問題点 |
| 6 | 地域公共交通の現状・問題点 | ○公共交通の利用環境に関する問題点 |
| 7 | 地域公共交通計画の基本的な方針（案） | ○上位・関連計画 ○計画の基本的な方針（案） |
| 8 | 計画目標（案） | ○現状や問題点と計画目標の関係図 |
| 9 | 計画目標（案） | ○目標 ~ ○市内公共交通ネットワークの基本的な考え方 |
| 10 | 計画目標（案） | ○目標 ~ |
| 11 | 今後の取組など | 今後のスケジュール 地域公共交通の将来イメージ |

2 - 2 説明用パネル（モニター表示）

参考資料 1 参照

2 - 3 配付用パンフレット

参考資料 2 参照

2-4 来場者アンケートの実施

実施目的を踏まえ把握項目を整理し、アンケート調査を実施した。

府中市地域公共交通計画に関するアンケート

以下の設問について、該当する項目の欄にシールを貼ってください。

問1 地域公共交通計画の必要性について

本市において地域公共交通計画が必要な理由がわかりましたか。

| わかった | わからなかった |
|------|-------------------------|
| | →わからなかった点を具体的にお聞かせください。 |

問2 計画の基本的な方針（パネル⑦）についてお聞きします。

計画の基本的な方針(案)「①誰もが自由に移動ができる ②まちづくりとの連携 ③持続可能な地域公共交通」は、本市が目指す公共交通サービス像として適切だと思えますか。

| はい | いいえ |
|----|---------------------|
| | →その理由を具体的にお聞かせください。 |

問3 計画の目標（パネル⑨、⑩）についてお聞きします。

計画の目標のうち大切だと思うものを教えてください（3つまで）

| | |
|---|----------------|
| ①市内各所から市中心部へのアクセスを効率的・効果的に確保する | |
| ②日常生活圏域内における生活・移動をより便利にする | |
| ③地区間や市外への移動の利便性を維持向上する | |
| ④年齢やライフステージ・身体状況等によらず、市民が必要な移動ができるようにする | |
| ⑤誰もが安心・快適に移動できるようにする | |
| ⑥交通サービスを将来に渡り提供できるようにする | |
| その他 | →具体的にお聞かせください。 |

3 . 開催結果

3 - 1 結果概要

表 来場者数

| 日時 | 会場 | アンケート 回答者数 | 来場者数 |
|----------------------|-----------|---------------|------|
| 5月12日(木) 10:00~16:00 | 白糸台文化センター | 36 | 53 |
| 5月13日(金) 10:00~16:00 | 西府文化センター | 36 | 56 |
| 5月14日(土) 10:00~16:00 | フォーリス | 61 | 449 |
| | 合計 | 133 | 558 |

パンフレットを受け取った方を来場者としてカウントした。



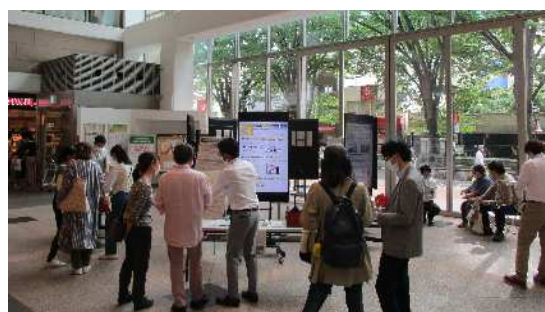
図 当日の様子（白糸台）



図 当日の様子（西府）



図 当日の様子（フォーリス）



3-2 来場者アンケート結果

3-2-1 本市において地域公共交通計画が必要な理由がわかりましたか。

「わかった」が132人(99.3%)、「わからなかった」が1人(0.7%)という結果となり、参加者の99%以上から地域公共交通計画策定の必要性を理解してもらうことができた。

表 回答結果

| | わかった | わからなかった | 合計 |
|-----------|--------------|-----------|---------------|
| 白糸台文化センター | 35 26.3% | 1 0.7% | 36 27.0% |
| 西府文化センター | 36 27.1% | 0 0.0% | 36 27.1% |
| フォーリス | 61 45.9% | 0 0.0% | 61 45.9% |
| 合計 | 132 99.3% | 1 0.7% | 133 100.0% |

3-2-2 計画の基本的な方針(案)「誰もが自由に移動ができる まちづくりとの連携 持続可能な地域公共交通」は、本市が目指す公共交通サービス像として適切だと思いますか。

「はい」が122人(96.1%)、「いいえ」が5人(3.9%)という結果となり、地域公共交通計画の基本的な方針(案)について、市民感覚と大きな乖離がないことを確認した。

表 回答結果

| | はい | いいえ | 合計 |
|-----------|--------------|-----------|---------------|
| 白糸台文化センター | 33 26.0% | 1 0.8% | 34 26.8% |
| 西府文化センター | 33 26.0% | 3 2.4% | 36 28.3% |
| フォーリス | 56 44.1% | 1 0.8% | 57 44.9% |
| 合計 | 122 96.1% | 5 3.9% | 127 100.0% |

問1のみに回答した方がいるため合計数は一致しない

「いいえ」の理由

- ・ 「持続可能」であるためには、単なる現状維持や適正化だけではなくアジャイルに見直しを行う必要があると思うが、その観点が読み取れない。
- ・ 中心市街地の活性化に関する事項について賛成できないため。
- ・ 府中市は公共交通が充実しており、ぜいたく過ぎる。歩くべき。そもそも高齢者は、施設に入所するような人が増えてきているので、公共交通など使わなくなるため。

3-2-3 計画の目標のうち大切だと思うものを教えてください(3つまで)

「日常生活圏域内における生活・移動をより便利にする」が63人(19.3%)と最も多く、次いで、「年齢やライフステージ・身体状況等によらず、市民が必要な移動ができるようにする」が60人(18.4%)、「誰もが安心・快適に移動できるようにする」が59人(18.1%)と多かった。

会場別にみると、白糸台文化センターでは「市内各所から市中心部へのアクセスを効率的・効果的に確保する」「年齢やライフステージ・身体状況等によらず、市民が必要な移動ができるようにする」がともに14人(4.3%)と多かった。

西府文化センターでは「日常生活圏域内における生活・移動をより便利にする」が23人(7.1%)と最も多かった。

フォーリスでは「日常生活圏域内における生活・移動をより便利にする」「誰もが安心・快適に移動できるようにする」がともに29人(8.9%)と多かった。

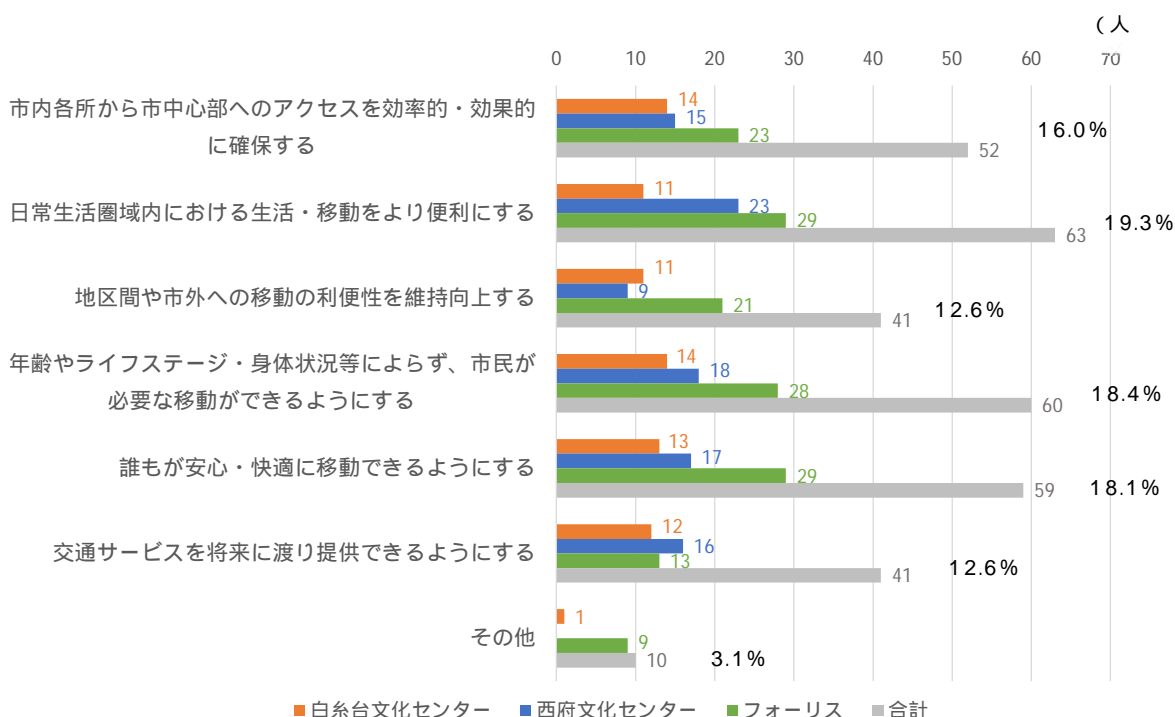


図 計画目標のうち大切だと思うもの

「その他」の理由

・計画目標、 のようにすべての人を対象としてサービスを提供することは実現困難であり、もっと対象を特定する必要がある。 などによるサービスの充実とバランスをとるために計画目標 があると思われるが、これらの両立は不可能である。

表 計画目標のうち大切だと思うもの

| | 市内各所から市中心部へのアクセスを効率的・効果的に確保する | 日常生活圏域内における生活・移動をより便利にする | 地区間や市外への移動の利便性を維持向上する | 年齢やライフステージ・身体状況等によらず、市民が必要な移動ができるようにする | 誰もが安心・快適に移動できるようにする | 交通サービスを将来に渡り提供できるようにする | その他 | 合計 |
|-----------|-------------------------------|--------------------------|-----------------------|--|---------------------|------------------------|------------|---------------|
| 白糸台文化センター | 14 4.3% | 11 3.4% | 11 3.4% | 14 4.3% | 13 4.0% | 12 3.7% | 1 0.3% | 76 23.3% |
| 西府文化センター | 15 4.6% | 23 7.1% | 9 2.8% | 18 5.5% | 17 5.2% | 16 4.9% | 0 0.0% | 98 30.1% |
| フォーリス | 23 7.1% | 29 8.9% | 21 6.4% | 28 8.6% | 29 8.9% | 13 4.0% | 9 2.8% | 152 46.6% |
| 合計 | 52 16.0% | 63 19.3% | 41 12.6% | 60 18.4% | 59 18.1% | 41 12.6% | 10 3.1% | 326 100.0% |

4 . 府中市地域公共交通計画の基本的な方針（案）等への反映

オープンハウスの開催結果を踏まえ、府中市地域公共交通計画の基本的な方針（案）等の留意点や修正内容を整理した。

<留意点>

・計画目標のうち大切だと思えるものとして、目標、目標、目標の回答が多く、日常生活圏域内における生活・移動に関する施策や、まちづくりや福祉分野と連携した交通サービスの提供に関する施策、バリアフリー化など安心・安全で快適な移動環境の整備に関する施策については、市民ニーズが高いものと思われる。

<修正内容>

- ・地域公共交通計画の必要性について参加者の大半から理解を得られたため、策定作業を継続する。
- ・「基本的な方針（案）」及び「計画目標（案）」について参加者の大半から理解を得られたため、案の方向性は維持する。ただし、オープンハウスの開催結果を踏まえつつ全体の整合を図るため、以下のとおり文言の修正を行う。

方針・目標の方向性を維持しつつ、語尾の統一など文言を整理する。

計画目標 小項目に掲げるデジタル技術の活用を、基本的な方針においても明記する。（方針）

第7次府中市総合計画のまちづくりの基本理念において、時代や環境の変化に対応し、お互いが連携・協力して協働によるまちづくりを推進することとしているため、市民、NPO・ボランティア団体、事業者等との「協働」の視点を明示する。（方針）

方針 誰もが自由に移動ができる

交通弱者の移動の確保が確保された公共交通

若者や子育て世代も移動しやすい交通環境公共交通

来訪者も円滑に移動できる交通環境公共交通

方針 まちづくりとの連携した

福祉や観光などの他分野と連動連携した公共交通

まちの変化や新たな拠点と連動連携した公共交通

デジタル技術の発展と連携した公共交通

方針 持続可能な地域公共交通

公共交通に対する財政負担の適正化

財政負担が適正化された公共交通

市民、交通事業者等と共に協働でつくる公共交通

脱炭素型社会の実現に寄与する公共交通

その他課題に対応するよう計画目標の文言を修正する。

計画目標 誰もが安心・快適に移動できるようにする

安全・安心で分かりやすく快適な待合交通環境を提供する

4 - 1 自由意見

< 白糸台 >

府中市地域公共交通計画（案）に関する意見

- 市域を跨いだ移動ニーズに対応するのは当然のことである。

ちゅうバスに関する意見

運賃について

- ちゅうバスの料金は、200 円でも良い。ただし、交通弱者等は別の料金設定をした方がよい。
- ちゅうバスは値上げしてもよい。120 円くらいまで。

運行時間帯について

- 通学通勤の時間帯だけでも良いので、ちゅうバスは最低でも 3 本にして、朝と夜の時間を延ばしてほしい。
- ちゅうバスの運行時間を延ばしてほしい。（夜の運行時間の拡大）
- ちゅうバスだと歩く距離が短いのだが、夜の便がない。
- 府中駅周辺からのアルバイト帰りの夜のバスが少ない。（紅葉丘）

運行本数について

- ちゅうバスの本数を増やしてほしい。
- ちゅうバスの運行本数・運行時間帯の拡大
- ちゅうバスの是政循環はバスが大きいが混雑している。3 本にしてほしい。
- 押立のちゅうバスを使っている。夜の帰りの本数を倍に増やしてほしい。自転車で中心へ行くと、駐輪場を探すのが大変だし、料金もかかるので、なるべくバスで行きたいが、帰りの本数が問題。
- ちゅうバスが混んでいて座れない。
- 雨天時に混雑して快適性が低い。

高齢者の利用について

- 足が悪いのでカートを使っている。バス停に車両が停まるとき、路肩との隙間がないように停まってほしい。ドライバーによって違う気がする。特に降りるとき、隙間があると怖い。

その他

- 東府中駅でちゅうバスを乗り継いで利用する。15 分ほど待つが、雨風を防げる場所があると良い。
- ちゅうバスで府中駅に行く場合、遠回りになってしまう。

公共交通全般に関する意見

公共交通ネットワークについて

- 公共施設へのアクセス 施設間をめぐる路線がない。府中駅まで行って乗り継がないといけない。せっかく色々な施設があるのにもったいない。
- 新町文化センターへのアクセスが悪い。
- 車返団地周辺は坂が多い。そのような地形も考慮してバスの検討をしてほしい。
- 押立町など市域南東部のエリアではちゅうバスがないと日常の移動に支障がある。
- 坂がきつくて、その区間の移動でちゅうバスを利用している人もいる。
- スーパーに行くだけのバスなど、目的に沿ったバスがあればよい。
- 鉄道、路線バス、ちゅうバスなどの重複は非効率であり、住み分けを行う必要がある。

- 山手線のように市域全体を循環するバスを検討してほしい。

自転車利用環境について

- 自転車の安全性については、個人の意識の問題以前に道路環境の改善が必要。
- 高齢化が進んでも自転車が利用しやすい環境を作ると良い。
- ハケは自転車で移動するのは大変。
- 旧甲州街道が狭く自転車で走りにくい。
- 西武多摩川線のサイクルトレインについて、多磨駅も対象としてほしい。

乗継利便性について

- 乗換券があると嬉しい。
- 府中駅でも乗継券を使えるようにしてほしい。
- 異なる交通機関の間で乗り継ぎをした際の料金サービスなど、民間と行政や民間同士で連携した施策を検討してほしい。

情報提供について

- バスの利用はしていないが、利用したくても路線が分からない。行きたい所への路線や、乗るバス停の位置などがネットで簡単に調べられると良い。
- バス乗車時に自分が利用するバスを見分けにくい。バス車両のカラーリングや、車両の行き先表示を工夫してほしい。
- バスを降りたところに詳細な周辺地図があるとよい。

その他

- ちゅうバスに限らず、バス停区間を細かく設定してほしい。
- 多摩総合医療センターに行こうと思っても、路線バスに学生が多かったりして混雑していると、体調が悪い時には乗れない。直通バスがあると良い。
- 多摩総合医療センター方面に行く際は、府中駅を経由せずに中央線を使っているため、買い物なども中央線沿線の駅ですることになる。
- 市営駐車場について、規模が大きいのはよいが使いづらい。ル・シーニュ店舗の割引サービスの一体化など検討してほしい。
- 道路が狭く歩いていて危険を感じる。
- 人見街道がせまく安全に通行できない。
- 高齢者の方で歩行器を使っている方は、バスが乗りづらい。

< 西府 >

府中市地域公共交通計画（案）に関する意見

- 計画を立てる前に具体的な事業を3パターンくらい用意して意見を聴くと良いと思う。
- 本計画は買い物など日常生活と移動手段が対象になっていると思われるが、災害時における高齢者の避難所への移動手段の確保など、災害対応との連携についても考えてほしい。現在はボランティアとして避難所まで車で高齢者の移送を行っている。
- 最寄りのスーパーへの移動を支える交通手段など、地域内の高齢者の生活を考えてほしいと思っている。そのような視点が計画に入っているのはよい。

ちゅうバスに関する意見

運行ルートについて

- 市域西側地域の拠点である西府駅にちゅうバスを乗り入れてほしい。
- 西府駅にちゅうバスが通っていない。

- 武蔵台から西府駅までのちゅうバスがほしい。
- 新宿方面に甲州街道を直進するちゅうバスがほしい。

運行本数について

- ちゅうバスの本数を増やしてほしい。(20分に1本くらい)

高齢者の利用について

- 高齢者にとってちゅうバスの路線は複雑すぎる。

その他

- ちゅうバスについて、雨の日は利用者が多く乗りづらい。
- 四谷方面に住んでいた際は、鉄道への乗り換えのためにちゅうバスを利用していた。
- ちゅうバスが通らなくてもよいので、マイクロバスのようなものを通してほしい。

路線バスに関する意見

- 路線バスは、時刻表に合わせることや停留所まで行くことが面倒なので使わない。
- 府中駅から調布駅へ向かう路線バスがない。

公共交通全般に関する意見

公共交通ネットワークについて

- 西府文化センターへ乗り入れてほしい。
- 文化センターをめぐるバスがあるとよい。時間はかかってもよい。
- 西国分寺駅から永山駅までの経路は、1時間に1本でもいいのでほしい。
- 聖蹟桜ヶ丘駅から多摩総合医療センターまでのバスがほしい。
- 矢崎地域は坂が多く、バスを使っている。
- 多摩総合医療センターまでの移動は、バスが1時間に1本しかないため、面倒になり行きも帰りもタクシーを使っている。
- 多摩総合医療センターまで1時間に1本しかなく不便。
- 国立市との市境では、中心地への移動が公共交通ではできない。

バリアフリーについて

- 病気の時に車いすを利用していたが、バリアフリーが不足している道路等が多い。例えば、道路上の切り下げや工事の後の凹凸など、些細な段差が支障になっていた。
- 西府の踏切が両方廃止になり、階段になった。安全性が疑問だったが、案の定転倒してケガをした。今の状況は「誰もが安心して」利用できる形状(バリアフリー、スロープなど)になっていない。

乗継利便性について

- 乗り換えが大変。
- 鉄道、バス、ちゅうバス間のスムーズな乗り継ぎなど、異なる交通機関同士の連携がもっと必要。

自転車利用環境について

- 大きな駅周辺では自転車が気軽に駐車できない。

情報提供について

- グリーンスローモビリティやフィーダー交通など横文字が多くてわからない。例えばハケ移動手段とか、泥臭くてもよいのでわかりやすい名称を使うとよい。

その他

- 西府駅ができたときに踏切が2か所なくなってしまい、学校や高齢者施設等もあるのに良くなかった。地下道は使いにくい。
- EV車だけにすると停電の際に動かなくなったり、バッテリー交換が容易ではない等、全てを脱炭素とするのではなく、それぞれの良い部分を使ってほしい。
- 自動運転などが整備されていくと思う。
- **現時点では車を使っているが、今後バスなどを使うようになるだろうと思っている。**
- 地方都市では、手を上げると止まるようなバスもあったので、利用しやすかった。
- 海外では歩車分離されているのに、日本では進んでいない。
- こども食堂の高齢者版のようなものを公民館などで行い、そこまでの移動手段もセットで考えてもらえるとよい。

その他

- **文化センターの周りのまちづくりを充実させていくべき。**

<フォーリス>

府中市地域公共交通計画（案）に関する意見

- 府中市の地域公共交通計画では市民との意見交換会の機会は作らないのか。東京都では似たような会議ではよく行われていると思う。
- 計画策定のスピードを上げてほしい。
- 市政全般として、身近な困りごとに目を向け、改善に取り組んでほしい。
- **高齢者ばかりではなく、若い世代や子育て世帯のことももっと取り入れてほしい。**
- AIカメラなどにより年齢、性別等の属性が把握できるようになってきており、データに基づいて実態を把握・分析することが重要である。公共交通利用者だけでなく道路を通行する人も対象にできればよい。

ちゅうバスに関する意見

運行ルートについて

- **必ずしも府中駅につながなくても良いのではないか。**
- 東府中～芸術劇場の間に、ちゅうバスのバス停、目的地があると良い。（スーパー）
- 北部エリアをちゅうバスは走っていないので運行してほしい。
- 新町エリアはバス停が少ない。ちゅうバスを通すと便利になるのではないか。
- 四谷から国立市境あたりにちゅうバスルート充実させてほしい。
- **押立町に住んでいるが、ちゅうバスに市を越えて乗り継ぎができるルートがあれば、より便利になると思う。**
- 日新、西府エリアでは、ちゅうバスでは行きたいところに行けない。
- ちゅうバスのルートで、なぜここを走っているが疑問に感じるような場所を走っていることがある。また、病院や公共施設を寄るルートだけでなく、いまルートがない地域にもバスを走らせてほしい。
- 郷土の森へ行くのが不便。ちゅうバスのバス停があると良い。
- 多磨町ルートを多磨駅（アリオ）へ
- 車を運転しないので、市内をちゅうバス乗り回している。知らない所へルートを変えると良い。
- ちゅうバスを各地域にある大型施設にアクセスできるようにしてほしい。
- 押立・朝日町循環、朝日町ルートの武蔵野台駅の前まで入っていく必要はないのではないか。
- ちゅうバスの南町四谷循環、北山町循環において、フォーリスやルシーニュの利用者が多いことから、松本屋前あたりにバス停を増やしてほしい。ちゅうバスの是政

循環は利用者が多いためかバスが通常よりも大きいと認識している。通勤や通学のニーズが高いような収益が見込める路線については、京王バスに変えることや、個別に運賃を上げる工夫をしてもよいのではないかと。

- ちゅうバス是政循環は稲城方面までつなげることも考えられる。
- 西府駅ができたことで周辺地域のバスルートが変わり、地域住民としては府中駅方面に向かわず南武線を利用して立川駅に向かう人が増えたと感じている。しかしながら、**高齢者や子育て世代はコミュニティバスに頼る部分も大きく、中心市街地と西府駅をどうつないでいくのかは考えてほしい。**中心市街地の活性化という点でも、ちゅうバスの利用者が増えることに期待している。
- 自分の住んでいる地域にちゅうバスが通っていない。

運行本数について

- ちゅうバスの本数を増やしてほしい。
- ちゅうバスは本数が少ないが、安いから使っている。
- ちゅうバスについて、30分に一本は少ない。
- ちゅうバスの始発時刻を通勤で使えるように早くしてほしい。
- ちゅうバスに7時台の便を作してほしい。子供の通学に利用したい。
- 是政循環は朝遅い、夜早い。買い物してご飯を食べると間に合わない。いきいきプラザへ9時に間に合わない。みんな武蔵境へ行ってしまう。東府中へはタクシーを使っている。
- 公園の帰りに子どもとちゅうバスに乗るが、いつもとても混んでいるため乗りづらい。
- **多磨町ルートは、土日、美術館などの利用者が多く、乗り切れないことがある。**
- ちゅうバスが遅い時間に通っていないため、タクシーを使っている。
- ちゅうバスについて、運行頻度が高くすることで利用者が増えるのではないかと。

運賃について

- ちゅうバスの100円は維持してほしい。
- ちゅうバスの100円は安すぎる。府中市は他市に比べてかなり恵まれている。
- ちゅうバスは民営バスに比べて安い運賃で利用でき、ありがたい。
- ちゅうバスは他市に比べて運賃や本数の面で利用しやすいと感じている。財政面での負担が増えているというが、税金を重点的に使っても市民が利用しやすさを優先してほしい。運賃は上げないでほしいし、ルートも増やしてほしい。

他分野との連携

- ちゅうバスに乗った時に、高齢者等で人が多いにもかかわらず、ベビーカーをたたまずに乗る家族がいて、もう少し配慮してほしいと思った。
- **ちゅうバスの経路等を減らしても、福祉分野等で代替事業があればよい。**
- 障害者がもらえる民営バス割引証で京王バスも片道100円から乗れるので、ちゅうバスに乗る機会はない。
- **商店街で、ちゅうバスを利用して買い物に来てくれた高齢者に対して、帰路分のちゅうバスの回数券を1枚渡すサービスを検討している。あくまで市に頼らない商店街独自の取組として考えているが、高齢者や障害者の市内移動の促進や経済的負担の軽減という面で、コミュニティバスが役割を担える部分もあると感じている。**

情報提供

- 普段は京王バス。たまにちゅうバスに乗るが、先日間違えて反対方向に乗ってしまった。(榊原記念病院 府中駅)案内が分かりにくい。
- ちゅうバスの中河原駅での乗り継ぎが分かりづらい。

その他

- ちゅうバスが時間通り来ない。(特に是政循環)

- ちゅうバスは運転が荒いことがあった。
- ちゅうバスを通勤に使っている。(中河から四谷)路線バスの本数がなくなったのでちゅうバスはありがたい。なくなるはないでほしい。
- 雨の日はちゅうバスを利用する。
- 前にちゅうバスの是政循環ルートが一部変更になり、橋の先にバス停が移動したが、車内アナウンスが直っていない部分があるのではないか。
- 市の北部(天神町、新町、栄町あたり)に住んでいる人は、小金井市や国分寺市のコミュニティバスに乗って中央線に出ることが多い。ちゅうバスは府中駅まで時間がかかったり、バス停が遠かったりするため、普段利用しない。
- 視覚障害があり、ちゅうバスの緑色の車体の色が認識できない。

公共交通全般に関する意見

公共交通ネットワークについて

- 矢崎町にバスがない。府中駅まで行けると良い。
- 矢崎にバスがないので不便。
- 駅から郷土の森へ行くのが不便。(高齢者が行きたい行事あり)
- 中央線(JR)にアクセスしづらいので、北府中までバスを運行してほしい。国分寺に行くバスはあるが、北府中はないのでは。
- 府中駅止まりではなく、東西を横断するルートがあっても良い。
- 府中駅から運転免許試験場までのバスルートを作ってほしい。市民なのに行きづらい。
- ここで子どもが小学校に入学したが、家から1キロ以上離れており、通学に使えるバスも走っていないエリアである。ちゅうバスでも民営バスでもいいので、ルートと本数が増えてほしい。
- 東西のバスが欲しい。(東八道路、美術館通り)
- 府中本町 是政の接続利便性の向上を望む。
- (多摩駅)西武線から武蔵野線へのアクセスが大変。駅などの拠点をつなぐネットワークがあると良いのではないか。
- 生活圏の鉄道駅にアクセスできると良い。特に西府駅。駅につながればなんとかなるのでは。府中本町駅にちゅうバスが止まらないのは不便。
- 京王線の新宿～府中の直通が少なくなっている。
- 高齢化や免許返納のこともあり、今後の公共交通ネットワークが重要。
- 障害があり、多摩総合医療センター、都立神経病院に通っているが、府中駅からのアクセスを向上させてほしい。安いタクシーを作ってほしい。
- 各駅や多摩総合医療センターへのアクセス向上を望む。
- 病院へのアクセスが悪い。バリアフリーが不足している。
- 日新から四谷に行く路線バスがなくなり不便。
- 甲州街道をはさんだ南北の移動がしづらい。

自転車利用環境について

- 交通が不便なので自転車が多い。歩道を自転車が走り回る。特に、けやき並木は自転車が車道を走れない。危ないので、高齢者は出かけるのがおっくうになる。
- 駅まで徒歩8分程度の場所に住んでいるが、自転車のマナーが悪い上に歩道が狭い。
- 自転車マナーを学校や親から学ぶべき。
- 高架下等に駐輪場を増やし、市内の自転車移動をしやすくしてほしい。
- 駐輪場のエレベーターは1台しか乗らず、また帰る際上がるときに大変さを感じる。

- 駐輪場の場所が分かりにくい。
- シェアサイクルを利用することがあるが、ステーションが埋まっていたり返せないことがあったり、返却にも予約が必要であったりと、利用方法が複雑だと感じる。

鉄道駅について

- 市内の駅にホームドアを整備してほしい。
- 分倍河原駅にホームドアを整備してほしい。
- 分倍河原駅が移動しにくい。ホームドアを設置してほしい。
- 北府中駅をもっと使いやすくしてほしい。周辺環境も改善してほしい。

乗継利便性について

- 乗り継ぎ不便なし。
- 白糸台駅と武蔵野台駅間の乗り継ぎを向上させてほしい。
- 分倍河原駅での乗り換えが大変。道が狭いのでもう少し広げてほしい。

情報提供について

- 路線が分かりにくい。バス停で本当に来るのか、位置情報を検索したい。
- バスを間違えると料金を払うことになるので不安になる。サブスクが良い。
- バス、電車、シェアサイクルなど、全ての状況や移動ルートが分かりやすく管理されているサイトがあるとよい。

バリアフリーについて

- 多摩総合医療センターへ高齢の家族が通院しているが、車イスではバスに乗りにくいのでタクシーを使っている。
- 道路より歩道が下がっているバス停があり、高齢者や障害者が降りづらいことがある。
- 甲州街道の歩道が狭い。道路の段差をなくすなどバリアフリー化が必要。

運行時間帯について

- 早朝と夜間の公共交通を増やしてほしい。ちゅうバスが増やせなければ、他の方法でも対応を検討してほしい。
- 朝・夕（通勤の少し前）に混むので、1台増やしてほしい。
- 朝の時間帯の運行をして、通勤者も利用できるようにしてほしい。

交通拠点について

- 府中駅のバスターミナルに交番を作ってほしい。駅のすぐ近くに交番がないと治安の面で不安になる。
- 府中駅のバスターミナルの待合席を増やしてほしい。
- 身近な場所でバスなどに乗れる拠点があるとよい。

運賃について

- 料金は鉄道よりも安ければ、値上げをしても良い。高齢者などは、1区間しか利用していないケースがあるので、距離制にしても良いかと思う。
- 負担が増えているというが、料金を上げない方法を考えることも大事。

その他

- 中心部のにぎわいづくりには、府中駅、府中本町駅、分倍河原駅で一体的に取り組むことが必要。そのためには、各駅間の移動をスムーズにすることや、歩いて楽しい、歩きやすいまちづくりが必要。
- ベビーカーがあるのでバス停にイスがあると良い。

- けやき並木の駐車問題。昼間は車をしめだしても良い。人、自転車、荷下ろしのみにする。
- けやき並木には、ごみを捨てたり、居座ったりするなどマナーの悪い人がいて、中心市街地の活性化と言っても、上手に活用できていないような気がする。
- バスを大きくして乗車定員を増やしてほしい。老人も子供も使いたい人が多いと思うが、ニーズに比べて定員が少ない。
- ドライバーの対応が悪かった。
- 中央線に出るのが便利。後払いなので前扉から降りる。後方から車内を歩くが、学生が前に集まると降りるのが大変。降車時間が長くなる原因になる。
- 市外在住者だが、京王バスは便利に使わせてもらっている。
- 今の高齢者にスマホを活用した仕組みは難しいと思うが、今の現役世代はスマホにもなじんでいるので、高齢になっても活用できると思う。
- 競馬場の開催日に自動車の交通量が多く渋滞する。競馬場周辺の住宅地等で野良駐車場が多すぎる。公共交通機関を使って、近隣住民に迷惑のかからないようにしてほしい。
- 市中心部に人を集め集中的に活性化したほうがよい。
- 分倍河原駅の歩道橋は、穴が開いているような状況もあり、危険。
- 分倍河原周辺の方は、中心地に行かなくても、MINANO等で完結している等区内で間に合っている。
- 府中駅周辺に人を集めるのか、ある程度点在させるのか。集客施設は、府中駅周辺に集めるのか、点在させるのか。そのあたりのまちづくりがあいまいだと思う。ちゅうバスや路線バスもそういったまちづくりと一緒に検討した方がよい。
- 府中駅周辺は、各施設が分断されており、歩いて回りづらい。
- 府中駅周辺の回遊性が低い。
- 雨や雪の時には、高齢者や子育て世代が道路を使う際に危険。
- 徒歩や自転車での移動が多いといっても、それしか手段がないだけかもしれない可能性もあるため、正確な実態把握が不可欠である。
- 交通の便の良さも含めてどこに住むかは個人の選択であって、必ずしもだれもが自由に移動できる必要はない。
- 府中駅と府中本町駅間の循環路線のようなものがあれば高齢者が利用するかもしれない。
- 子どもだけで乗れるような公共交通があるとよい。

その他

- 日常生活が身近な地域で完結するように、文化センター機能を拡充することや、各種行政手続きをオンラインで行えるようにすることも平行して進めるべき。
- 富山のようなコンパクトシティー化を進め、駅などの拠点周辺に人と都市機能を集約すれば移動手段を充実する必要はない。拠点周辺に居住する人に家賃を補助するなどの取組が必要。
- 大國魂神社の交差点で、当時の伊勢丹はどこか聞かれたことがある。土地勘のない人には分かりづらいのでは。